

第 118 回 研究会報告

第 118 回技術交流研究会が平成 21 年 12 月 3 日(木)に、株式会社ドーコン会議室で開催されました。

今回は、社会医療法人社団カレスサッポロ 時計台記念病院循環器センターの佐藤副センター長をお招きしてご講演いただくとともに、講演会終了後には情報交換会を行いました。以下に、講演内容を掲載します。

■第 118 回 講演概要

「メタボって何？」

—— 忍びよるサイレントキラーの恐怖 ——

社会医療法人社団カレスサッポロ

時計台記念病院循環器センター

副センター長 佐藤 勝彦 氏



佐藤副センター長

近年「メタボリックシンドローム」という用語がマスメディアを賑わし、一般の方の中にもかなり認識されるようになってきていますが、果たしてその実態と恐怖についてどの程度の理解が得られているのでしょうか？

腹囲 85 cm、血圧 135/80 mmHg、空腹時血糖 110 mg/dl、中性脂肪 150 mg/dl、HDL コレステロール 40 mg/dl…。

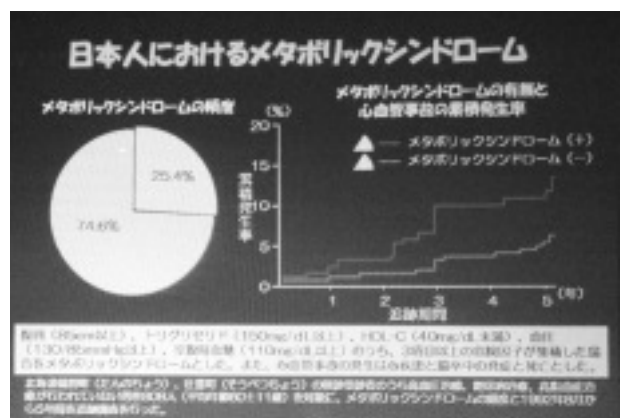
皆さんの健康診断の結果を見直しても、この程度の数値はよく目にするのではないのでしょうか。

確かにそれぞれの数値自体、一つひとつは大きな異常値とは言えませんが、これらが複数合併すると、とてつもなく恐ろしい殺人者、それも物言わずに忍びよる「サイレントキラー」と変貌するのです。

その末期像は、心筋梗塞であり、脳卒中であり、失明や人工透析、片足の切断かもしれません。

あなたは大切な余生を、まともな生活の質(Quality of Life: QOL)で過ごす自信がありますか？今は自覚症状もなく健康だと思い込んでいても、数年後に突然半身麻痺…心臓発作で救急車…のような事に、自分だけは絶対ならないという自信がありますか？

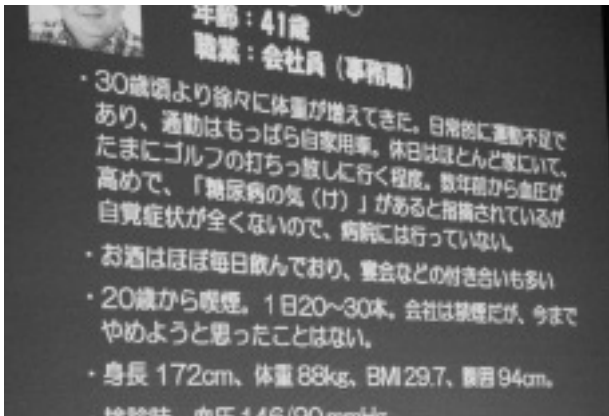
決して他人事ではありません。今一度、自分の健康状態についてよく考えてみましょう。



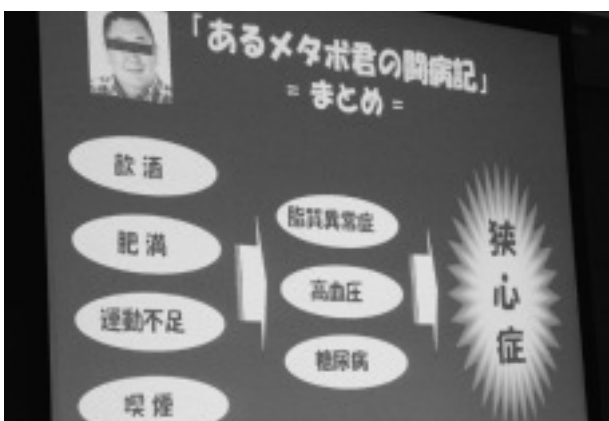


会場の様子

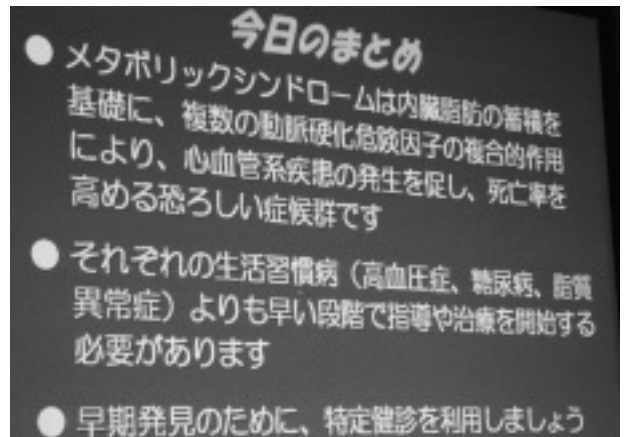
講演後、事例の紹介もあり、その後の質疑応答も予定より長く時間をとっていただき、参加者の皆さんからの熱心な質問に丁寧にお答え頂きました。



事例の紹介～あなたも思い当たる節が？



なぜか写真が松ちゃん



健康相談のような質疑応答

【幹事より】

普段患者さんと真剣に向き合っていらっしゃる先生の、実感のこもった講演でした。「癌と違い、サイレントキラーで亡くなる患者さんたちは、家族にお別れを言う時間も与えられません」などと言われ、このあとの情報交換会では、ワイン片手に最後の晩餐の様相とあいなりました（笑）。

ご多忙の中、ご講演いただいた佐藤副センター長に、誌面をお借りし、あらためて感謝の意を表します。

次回、第119回技術交流研究会は、3月4日(木)に予定しております。内容が決まりましたら、HPとEPOでお知らせしますので、会員非会員にかかわらずご参加下さい。また、技術交流研究会では、会員を随時募集しております。(株)日本技術士会の会員であれば、どなたでも入会できます。入会を希望される方、研究会に出席を希望される方は、(株)日本技術士会北海道支部事務局(出村)までご連絡ください。

(文責：技術交流研究会幹事長 吉野 大仁)